

議会広報広聴委員会記録

令和5年12月25日（月）

9時04分～10時13分

全員協議会室

【出席者】 村武委員長、村木副委員長、
肥後委員、大谷委員、三浦委員、沖田委員、川上委員、上野委員、
西田委員、川神委員

【議長団】 笹田議長

【事務局】 下間局長、村山書記、小寺主事

議題

1 採択した陳情の対応について……………資料1

(1) 特定の内容を削除した理由を教えてくださいという陳情の対応

(2) その他

2 はまだ議会だよりVol. 72の編集について……………資料2

(1) 校正作業

ページ	担当委員	記事
1-4	肥後委員 川神委員	表紙、ポイント、トピックス、 個人一般質問（3名）
5-9	大谷委員 西田委員	個人一般質問（17名）、 ぎかいポストに寄せられた意見への回答
10-13	三浦委員 上野委員	第3回はまだ市民一日議会（まるよみ）、 市民対談
14-16	沖田委員 川上委員	委員会活動レポート、 あとがきほか

(2) その他

3 主権者教育について……………資料3

(1) 全国市議会議長会からの通知

(2) その他

4 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[9 時 04 分 開議]

○村武委員長

ただいまより議会広報広聴委員会を始める。本日は、大谷委員、上野委員、川神委員より欠席届の提出があった。そして村木副委員長から少し遅れると連絡が入っている。では議題に入る。

1 採択した陳情の対応について

(1) 特定の内容を削除した理由を教えてくださいという陳情の対応

○村武委員長

12月定例会議において陳情が採択された。特定の内容を削除した理由を教えてくださいという陳情の対応について協議したい。皆の意見をいただきたい。

○沖田委員

前回の地域井戸端会だが、恐らく特定のルールを定めてなかったように記憶している。今回一定のルールを定めてなかったことが理由になるかと思う。記録者それぞれの判断において記録した結果、特定の情報が抜けていたものと思っている。それだけでは回答として少し乏しいので他の委員の意見も聞きたい。

○川上委員

沖田委員の意見も理解できる。記録を残すか残さないかに関しては、その会場でどのような話があったか、そのうちの一部分を捉えて出さなかったのが悪いというのではなく、たまたまその部分が出なただけだという理解で良いと思う。たまたま出なかった、たまたま記録がなかったというだけで良い。

○村武委員長

記録者各自の判断でたまたま報告しなかったということか。ほかにあるか。沖田委員と川上委員から意見をいただいた。今回特定のルールを定めてなかった。記録者各自の判断で報告しなかったところがあったかと思う。

○沖田委員

特定のルールというのが、出た意見は全て記録するという決め事はなかったように思う。自分も記録者をやった。出た意見を記録者の判断において記録した。なぜなら、出た意見を全て記録すると恐らく膨大な量になるので。当然、この意見以外にも掲載されてないものはある。全てを記録するという決め事ではなかったのが、一番の要因かと思っている。

○村武委員長

沖田委員が言われたように、出た意見を全て記録する決め事になっていなかったの
で、記録者各自の判断で報告を行ったということで良いか。

(「異議なし」という声あり)

では正副委員長で文章を整えて作成していきたい。ただ、今後については地域井戸

端会があるかどうかは今のところ決まってないので、そのときにそこを決めたほうが良いか、また協議したら良いと思う。

(2) その他

○村武委員長

議題1のその他、何かあるか。

(「なし」という声あり)

2 はまだ議会だよりVol. 72の編集について

(1) 校正作業

○村武委員長

校正作業に入りたいが、本日委員が少ないので負担を掛けるがお願いする。議会だよりは見てもらったろうか。

(「はい」という声あり)

では時間を設けずに進めて良いか。

(「はい」という声あり)

(以下、校正作業)

(2) その他

○村武委員長

ほかには良いか。72号の編集について、これで終わりたいが良いか。

(「はい」という声あり)

3 主権者教育について

(1) 全国市議会議長会からの通知

○村武委員長

資料を配信した。議長からも話があったが、全国市議会議長会から「市議会が取り組む主権者教育の推進について」という通知が来ている。次ページから、市議会が取り組む主権者教育の取組事例として全国の事例が10件ほど載っている。浜田市議会としても、これまでも主権者教育を推進していこうと取組ができていますし、今期も議会広報広聴委員会で取り組んでいきたいと言っているのです。今後どのように当委員会で取り組むか、皆の意見をいただきたい。本日協議するのではなくこの資料を見て、今後どのように取り組んでいけば良いか皆の意見をいただきたい。また、視察なども行って良いかと思う。委員から何か提出してもらおうようにするのだったか。

○村山書記

その他でお願いしたいのだが、議会だよりの紙面見直しについてまた意見を出してもらえればと思う。

○小寺主事

主権者教育の取組について事前に資料を見てもらっていると思うので、何か気になることがあればこの場で発言してもらっても良いし、今後の議会広報広聴委員会の取組を考えていく中で、また改めて協議の場を設けたいと思うので、そこで改めて意見をいただいても良いと思うので、よろしくをお願いします。

○村武委員長

今日のところで何か意見があるか。

○三浦委員

今回のはまだ議会だより（以下、議会だより）の中に、はまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）のページがあるが、そこでも小学生から大学生までの若い方々の参加が増えている傾向がある。市民一日議会は主権者教育の推進を目的に始まった事業ではないという理解でいるが、結局浜田市議会がそういった活動をする中で、主権者教育の対象者である方々の発言の機会として、そういう場所を活用している。結果的に機会提供になっている。既存の活動の中でも、良い活動につながっていることもあると思う。既存の活動の中で効果が見受けられるものと、それだけでは十分でなくこちらからももう少し能動的に働き掛けなければいけないことのアイディアを出す形で、議会全体でどうやって取り組むかを整理すると良いのでは。全くやってないわけではないと思う。さらに良い形で、こういう活動があるというのが伝わりやすいように変換することも必要かと思う。

○村武委員長

そこも皆と一緒に考えていけたら良いと思っている。

○下間局長

今回こうして全国市議会議長会から通知が来た。主権者教育の推進を市議会から積極的にやってもらいたいと、これまでも何度かお願いされている。書いてあるように「地方議会に対する住民の理解と関心を深め、多様な人材の市議会の参画促進の一助とするため、主権者教育を」というのが議長会の目的である。

これまでも、子ども議会や女性議会をやっているところがあって、それは市議会が主導でやっているところもあれば、執行部側がやっているところもある。例えば子ども議会の答弁者は執行部が座る。うちの市民一日議会は、議員が座って子どもたちの意見を聞くといったように、市議会が主催している。このように二通りのやり方がある。議長会が言われているのは、市議会が主導して主権者教育をどんどん進めてほしい、それは多様な人材の市議会への参画促進につながっていく。小さいころから身近に感じてもらうことが参画促進につながるため、市議会として取り組んでほしいというお願いなので、そういった点も踏まえて、市議会ならではの取組ができるよう、何か意見があれば聞かせてほしい。

○村武委員長

それは今日でなくても良いか。

○下間局長

はい。

○村武委員長

今日は委員全員の出席ではないので、皆に再度考えてもらって色々な提案をいただけたらと思う。また別に時間を取って協議を進めていきたいと思うがいかがか。

(「異議なし」という声あり)

(2) その他

○村武委員長

何かあるか。

(「なし」という声あり)

4 その他

○村武委員長

議会だよりの紙面見直しについて。毎年この時期に委員から意見をいただいている。前回のところで、今までのところで直したほうが良い箇所、考えたほうが良い箇所について皆の意見をいただきたい。期限を設けて皆から提出してほしい。

○村山書記

1月9日を締切りとし、それまでに意見を提出いただきたい。

○川上委員

目的を教えてほしい。

○村武委員長

議会だよりをより良いものにしていくため、毎回皆で見直していくことが必要だと考えている。それに併せて、先日も話したかと思うが、令和7年度から予算的などころも入ってくるかもしれないので、そこも考える必要もあるかもしれない。とりあえず今はそこは考えなくても良いかもしれない。

○三浦委員

僕は考えたほうが良いと思っている。要は議会だよりは議会からの情報を伝えるすごく重要なツールで、そこにどのような情報を掲載すべきなのは、きちんと議論しておいたほうが良いと思う。議会だよりは必要だということを前提に進めていく中で、場合によっては予算を削ることが求められるかもしれないが、ページを削ることで我々が伝えたいことが伝えられないなら、それはきちんと交渉すべきだと思う。議論する中で、限られた予算の中だがここは譲れない、しかしここは別の内容に変えていこうといった議論の中で、どういう紙面が良いかが出てくる話だと思う。せっかくのタイミングなので、今後のことも含めて議会だよりはどういう紙面のあり方が良いのかを聞かれても良いのではと思う。

○村武委員長

おっしゃるとおり、議会だよりはずっと大切にされていて、より良いものにしてきたと思う。市民に議会のことをしっかり伝えていく重要なツールなので、今後も良いものにしていくため、このタイミングで皆から意見を聞かせてほしい。

先ほど予算的なことは次の年でも良いと私も言ったのだが、そこも踏まえて考えて良いと思う。皆の意見を聞かせてほしい。

先ほど事務局からもあったが、1月9日までに提出してもらいたい。前は少なかった気もするので、できれば全員から意見をいただけたらと思う。

この件に関しては良いか。

(「はい」という声あり)

県立大学生との意見交換会がもう予定されている。前回全員協議会でも伝えた。しかしまだテーマや質問が出ておらず、グループ分けもできてないので、次回1月15日、県立大学生との意見交換会の前に1回委員会を開きたいと考えているが、いかがか。予定としては1月15日月曜日、13時30分からとしているが皆の都合はどうか。

○川上委員

テーマはいつ出てくるのか。

○村山書記

1月10日に県立大学からこちらに送られる予定である。

○村武委員長

県立大学から届いたら全議員にお知らせするのだったか。

○村山書記

全議員にSide Booksでお知らせしようと思う。連絡自体はすぐ送ろうと思っている。

○村武委員長

それが来てから当日に向けての議会広報広聴委員会での準備、共有しておきたいものもあると思うので、一度1月15日に委員会を開いてそのことについて検討するのと、議会だよりの紙面見直しについても協議ができればと思っている。

○川上委員

意見交換会のメインの働き手は向こうだったか、我々議会広報広聴委員会か。浜田市まちなか交流プラザ（以下、まちなか交流プラザ）か。まちなか交流プラザ主催と書いてあったようだが。

○村武委員長

主催は市議会である。意見交換をしてほしいという依頼はファンタスからあり、それを受けて市議会が主催で開催する。ただ、司会などはファンタスでしていただくほうが、学生からの意見がより出やすいと考えてそうしている。

○川上委員

どうも言っていることが分からない。市議会主催で、司会は向こうがすると言われたが、仕切りは向こうがしているのではないか。どこが仕切りで市議会としてやっているのか。仕切りは向こうがするなら、市議会は何をすれば良いのか。ただ行って意見を聞けば良いのか、ということになるのでは。

○小寺主事

当日の進行をファンタスにお願いしている。主催は浜田市議会である。それぞれの

テーブルに議員がおられるので、実際話をするのは議員と大学生の方々がそれぞれのテーブルで話をする形である。仕切りというよりは当日の進行をファンタスにやっていただくようなイメージを持っていただけたら良いかと思うがどうか。

○村武委員長

恐らく、昨年この会場で大学生との意見交換会をやったが、そのときも大学生に進行してもらった。そういった感じになるかと思う。理解いただけないか。

○川上委員

理解はするが、司会進行を向こうがするのなら、テーマを向こうが出して向こうが進行するのだから、向こうでやれば良いのでは。市議会がどこまで踏み込むか。最終的に意見を聞いてその報告を作るのは市議会ではないのか。何か中途半端な気がするのだが。最後のまとめはどこがするのか。市議会かファンタスカ。

○村武委員長

まとめとはどういうことか。

○川上委員

意見交換後にその意見を中途半端にするわけにいかない。それは誰がまとめるのか。その場ではファンタスがまとめるのか。

○村武委員長

当日に大学生から出た意見は、そこの会場の皆で共有する時間があると思うが、出た意見に対してどうするか、例えば議会として地域井戸端会や市民一日議会のように委員会から回答を返すようなことはしない。

議会として例えば意見を聞いて委員会で少し協議して進めるとか、各議員で取り組んでいくとか、そういうことはする。

○川上委員

意見を聞くことが大事だということか。理解した。

○村武委員長

はい、よろしく願います。1月15日に都合が悪い方は今いるか。大丈夫か。ではよろしく願います。

その他、皆から何かあるか。

○小寺主事

紙面の見直しについてだが、先ほど発信された資料にあるように2点ほど大きく考えていただきたい。新しい企画を何かやってはどうかといった提案があればいただきたいのと、今掲載している内容をどう変えたほうが良いか、この2点いただければと思う。その際にどのくらいのページ数が必要かもイメージしていただきながら、仮に16ページには抑えるというベースがあると思うので、何か新しいことをするのであれば何をやるかも併せて考えてもらいたい。今掲載している内容を見直すにしても、どういった見直しの仕方をするのかも具体的に提示いただければと思っている。

○村武委員長

よろしく願います。次回1月15日の委員会においては、先ほど話したことに加え

てはまだ議会だより m i n i についても話をしたい。

以上で良いか。

(「はい」という声あり)

では、以上で議会広報広聴委員会を終わる。

[10時 13 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 村武 まゆみ